

工事とお花

りかのひとりごと

2024年8月



夏休みになると、すぐに解体工事が始まりました。

仮囲いは、園庭の半分まで囲われていますが、「雨水浸透枡」を埋め込むためです。近年、雨量が多くなったため、義務付けられているそうです。そして8月2日、木造の年中保育室が解体され、地面が見えるようになりました。



朝7時、出勤途中の近隣の方が足を止め、携帯電話を取り出しその様子を撮影していました。お声をかけると「見慣れた景色が一変したので…」と、笑顔で応じてくださいました。



工事中

大きな機械ですが、とても丁寧に壊していたので、不思議と寂しい気持ちにはなりませんでした。



玄関の右側にあったタイル画



ただ残念なのは、ひまわりのタイル画です。当時、千葉高校の美術の先生がデザインしてくださった作品で、よく見ると、昼（太陽）と夜（月と星）が混在していたり、「カマキリ」がだまし絵のように存在していたりと、楽しい図柄でした。一番右のチューリップの上です。

姿は変わりますが、新園舎にも登場する予定です。

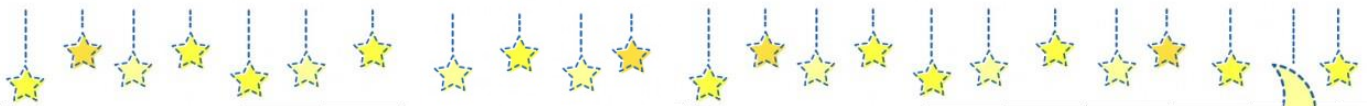


バス門が閉鎖され、ご迷惑をおかけして申し訳ありません。足下も悪いので、怪我のないように、ゆっくり通行なさってください。





そんな毎日を、花々が癒やしてくれます。
かわいいピンク色のタイタンビカスやガーベラ、そしてまだ一部しか花を咲かせていませんが、
今年のひまわりはとても大きく育ってくれて驚いています。



それから「月下美人が今夜咲きそう」と、
誘ってくれたので、友人宅に夜9時、
見に行きました。
南国のフルーツのような甘く苦しい香りと
神秘的な花の様子に、しばし魅了されました。

以前「月下美人」をいただいたことがあるのですが、
見事に枯らしてしまったことがあるので、いつか見たかったのです。
だから、とても嬉しい晩となり、パワーもいただけた気分でした。

